

生育目安・目標	適正な 栽植密度	作型	10a 苗立本数	収量構成要素 のめやす	作型	m ² 当たり株数	1株当たり莢数	m ² 当たり莢数	百粒重	目標収量
		単作	15,000本		単作	15株	37莢	550莢	39g	350kg/10a

播種・出芽 / 分枝・伸長 / 開花・着莢 / 登熟（粒肥大） / 収穫

時期	5月			6月			7月			8月			9月			10月			11月
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上

排水対策

- ★石灰・堆肥散布
- ★周囲明渠
- ★弾丸暗渠
- ★耕起前除草

播種・出芽

耕起前除草 → 耕起・施肥 → 種子準備 → 播種 → 出芽前除草剤散布

★石灰・堆肥散布
★周囲明渠
★弾丸暗渠
★耕起前除草

★種子消毒の徹底
★鳥害対策の実施
★裂皮防止のため、播種はできる限り6月から!!

★石灰・堆肥散布
★周囲明渠
★弾丸暗渠
★耕起前除草

分枝・伸長

中耕培土

★石灰・堆肥散布
★周囲明渠
★弾丸暗渠
★耕起前除草

★種子消毒の徹底
★鳥害対策の実施
★裂皮防止のため、播種はできる限り6月から!!

開花・着莢

病害虫防除①

開花期

病害虫防除②

★石灰・堆肥散布
★周囲明渠
★弾丸暗渠
★耕起前除草

登熟（粒肥大）

病害虫防除③

病害虫防除④

★石灰・堆肥散布
★周囲明渠
★弾丸暗渠
★耕起前除草

収穫

コンバイン収穫

★石灰・堆肥散布
★周囲明渠
★弾丸暗渠
★耕起前除草

【排水対策】

- ・ 消雪後、出来る限り早期にほ場の排水対策を実施する
- ・ ほ場周囲の明渠（排水路につなげる）・弾丸暗渠
- ・ ほ場の団地化、耕起前除草剤の散布

ポイント…降雨後、地表水を24時間以内に排除する

【土壌改良・基肥】（10a当たり）※地力により増減する

- ・ 土づくり 有機物の投入（ケイフン等）
- ・ 酸度矯正 マグクリン 60kg
- ・ 基肥 ワンタッチ大豆（緩効性肥料）30～50kg
- 国産化成肥料 14-14-14 9～24kg
- 有機入り大豆配合2号 15～30kg

【追肥】（10a当たり）

- ・ 湿害による黄化や生育不良などが見られた場合は、速効性肥料により培土時または開花期に追肥する
- ・ 地力の低いほ場や連作ほ場は、しわ粒の発生軽減と増収のため、緩効性肥料により2回目培土時に追肥する（ただし、基肥に緩効性肥料を施用した場合は重複施用しない）

【種子準備】

★ルートビーズ種子塗沫処理
→根粒菌が働くまでのスターター肥料
(種子1kg:8ml使用)*クルーザー前に処理

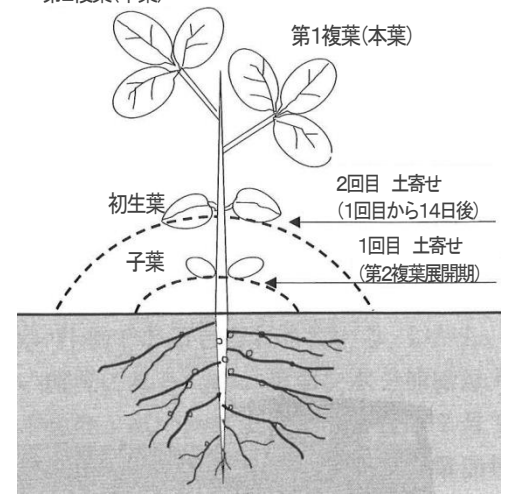
薬剤名	薬剤量(1kg)	対象病害虫
クルーザーMAXX	原液8ml塗沫	苗立枯病、紫斑病、茎疫病、黒根腐病、アブラムシ類、タネハ、ネリムシ類、アズビヒムシ、ハ、キジバト

・ 播種量 単作 4.5～6kg (9～12本/m) 6月上旬 播種

★排水条件の悪い場合…
→『畝立播種栽培』で発芽・苗立ちを安定させる

【中耕・培土】

- ・ 1回目 播種20～25日後
- ・ 2回目 1回目の2週間後
- ・ 畝がM字型にならないよう注意する
- ・ 開花始めまでに終了する



【病害虫防除】 周辺作物に飛散しないように注意する！

区分	時期	対象病害虫	薬剤名
基幹防除①・②	7月第2半旬～8月第1半旬 * 葉色が濃く、ウコンノメイガが発生しやすい	ウコンノメイガ アブラムシ	プレバソンフロアブル5 スミチオン乳剤
基幹防除③	8月20日～25日頃 (開花期4週間後頃)	紫斑病 子実害虫	地上防除 アミスター20フロアブル ラジハリ アミスタートレボンSE
基幹防除④	8月第5半旬～9月第1半旬	マメシクイガ等	プレバソンフロアブル5 アデオオン乳剤

ポイント…開花期や病害虫の発生状況を把握し適期防除、薬剤が株元までかかるように丁寧に散布する

【除草剤散布】 周辺作物に飛散しないように注意する！ (令和6年3月31日現在 7A7農業総覧2024 確認済)

時期	薬剤名	薬剤量(10a)	備考
耕起前 播種前	ラウドアップマックスロード	200～500ml	水量 50～100ℓ(耕起前または出芽前まで)
	タッチダウンIQ	250～500ml	水量 25～100ℓ(耕起または播種7日前まで)
播種後	覆土直後	クリアー細粒剤F	4～5kg 一年生雑草
	出芽前	クリアー乳剤	500～800ml 一年生雑草 水量70～100ℓ
	出芽直前～生育期	パワーガード液剤	400～600ml 一年生雑草 水量70～150ℓ
雑草生育期	全面 畦間 処理	ポルトフロアブル	200～300ml 一年生イネ科雑草 水量25～100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回
		ワザイトP乳剤	75～100ml 一年生イネ科雑草 水量25～100ℓ(雑草生育期～収穫60日前まで)1回
		大豆バサガラ液剤	100～150ml 一年生雑草(イネ科除く)水量100ℓ 開花前まで(収穫45日前まで)1回
	畦間 処理	ラウドアップマックスロード	200～500ml 一年生雑草 水量50～100ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内
		タッチダウンIQ	250～500ml 一年生雑草 水量25～50ℓ(雑草生育期～収穫前日まで)2回以内
		ザクザク液剤	300～500ml 一年生雑草 水量100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内
		バスタ液剤	300～500ml 一年生雑草 水量100～150ℓ(雑草生育期～収穫28日前まで)3回以内
土壌	タロゾール	100～200ml 一年生雑草 水量100ℓ(雑草生育期～収穫30日前まで)1回以内	

【刈取】

- ・ 黄葉期から成熟期までの期間が長い為、成熟状況を定期的に確認する
- ・ 完全に落葉し莢が褐色になった頃が成熟期 試し刈りを行い汚粒や損傷粒の発生状況、子実水分等を確認してから適期に刈り取る
- ・ 汚粒防止のため、雑草や青立ち株を取り除く

汚粒の発生しやすい時刻は収穫を避ける
刈り取り高さ・土砂の掻き込みに注意する
適期刈り取りに努める

【乾燥・調製】 共同乾燥調製施設へ搬入する

※ 農薬の使用に当たっては、最新の登録内容を確認の上、適正・安全に使用して下さい。